

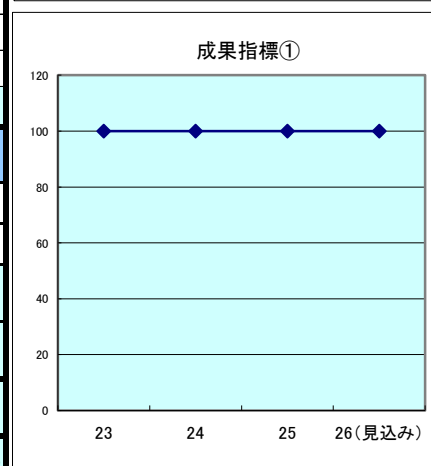
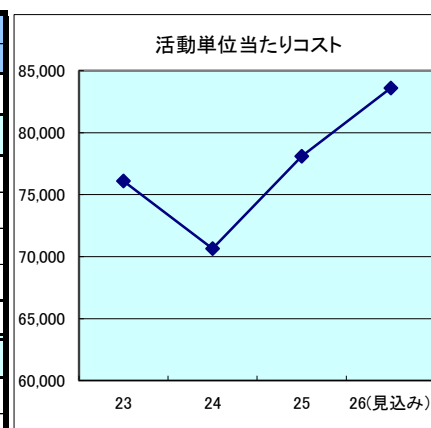
平成 26 年度 事務事業評価シート (平成 25 年度実施事業)

整理番号

土維01

事務事業名			排水路維持管理事業		予算科目	会計	1	一般会計	
						款	8	土木費	
						項	1	土木管理費	
						目	2	維持管理費	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち		事業	1	維持管理		
	施策(節)	11	上下水道						
	施策の方向	(4)	下水道事業の推進		作成部署	土木部 維持管理課			
関連する計画等					(連絡先)	072 - 958 - 1111 内線 2910			
事業の概要(目的・内容)			①水路等の清掃後の土・汚泥等の回収 ②排水路の清掃や草刈り ③排水路の補修 ④排水路施設等のトラブル対応(詰まり等)						
根拠法令等									
事業期間			☒ 10年以上 ☐ 5年以上10年未満 ☐ 5年未満(平成 年度開始)						
事業開始時から状況変化			下水道が整備されてきて汚泥等の量は減少傾向にあるが、高齢者社会に伴い清掃などが困難になってきている。						
実施手法			☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先			☐ 市外郭団体委託 名称() ☒ 民間委託 ☐ その他		委託内容		市の管理範囲内の水路修繕や清掃等		

区 分	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)	9,053	7,003	8,481	7,242
人件費【2】 (千円)	15,300	13,485	14,090	17,839
職員数				
正規職員	1.60 人	1.15 人	1.10 人	1.60 人
再任用職員	0.80 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人
嘱託職員	0.50 人	1.00 人	1.00 人	0.75 人
臨時職員	0.50 人	0.50 人	1.00 人	1.50 人
超過勤務(参考) (時間)	時間	時間	時間	時間
総事業費【(1)+(2)】 【A】 (千円)	24,353	20,488	22,571	25,081
財源内訳				
国庫支出金 (千円)	2,229			
府支出金 (千円)				
市債 (千円)				
その他(使用料・手数料等) (千円)				
一般財源 【B】 (千円)	22,124	20,488	22,571	25,081
活動指標 (事業の活動実績) 【C】 単位	23年度	24年度	25年度	26年度 (見込み)
① 作業実績件数 件	320	290	289	300
②				
活動単位当たりコスト 〔A〕÷〔C〕①)	76,103 円	70,648 円	78,100 円	83,603 円
活動単位当たり一般財源額 〔B〕÷〔C〕①)	69,138 円	70,648 円	78,100 円	83,603 円
市民1人当たりコスト 〔A〕÷人口)	206 円	175 円	194 円	217 円
一般財源【B】の推移(前年度比)		▲ 7.4 %	10.2 %	11.1 %
※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ)	☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど ☒ 2. 左記1によらない対象件数などの増減 ☒ 3. 物価・賃金水準などの変動 ☐ 4. 国庫支出金など特定財源の増減 ☐ 5. その他()			
※該当項目すべてに✓				



成果指標 (事業の達成度)	指標名		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	① 作業実施率	%	目標	100	100	100	100
	(式又は説明) 作業実施件数÷依頼件数×100		実績	100	100	100	100.0%
②			目標				達成率 (%)
(式又は説明)			実績				

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
		○		○						

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	市民生活に密着したニーズの高い事業で水路内の土（汚泥）やゴミの回収や排水路の補修等により排水能力の向上と環境美化の悪化を防ぐことは必要である。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	業務の一部を民間委託により効率的に実施している。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☐	☐	☒	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☒	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☒	☐	☐	排水路の清掃業務や草刈りなどは、地元住民や水利組合等の協力を得て実施しており、回収及び処分は当課で実施している。
	有効性	成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	依頼・苦情に対しては迅速に対応するようにしている。
	達成度	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	依頼・苦情に対しては迅速に対応するようにしている。

担当 部局 評価	総合評価			
	☒ 継続	☐ 改善	☐ 縮小	☐ 廃止・休止
	(概ね現行どおり継続して実施)	(実施方法の改善を検討する)	(事業規模の縮小を検討する)	(廃止・休止を検討する)
	今後に向けて(取組方針・具体的な改善改革案など)			
	多様化する依頼や苦情に適切に対応するように心がけている。 排水路の管理においては、担当課と相談しながら効率的に管理が出来るように努める。			
行 革 本 部 評価	総合評価		評価理由・意見	
	☐ 継 続 ☐ 改 善 ☐ 縮 小 ☐ 廃止・休止			